



「無線LANで利用可能なシンクライアント」で 端末管理が容易に ～立教大学 導入事例～

学校法人立教学院立教大学は東京都の池袋と埼玉県の新座にキャンパスを構え、合せて10学部と大学院14研究科を開設している、一大総合私立大学である。このたび、学生数の増加やシステムの老朽化に際して、大規模な新規ハードウェア導入およびリニューアルを執行した。新しいPCの運用環境には、無線LAN接続やオフラインでも使用でき、サーバやネットワークの障害にも強いシンクライアントシステムを採用した。

■導入の狙い

- ・効率的に管理可能で、ネットワーク障害にも強いシステムの導入。
- ・学生用貸出しノートPCの端末数増。
- ・老朽化した教卓用PCのリニューアル

■導入システム

- ・シンクライアント端末(Windows)→
V-Boot：1,234台、銀河計画MZD：421台
- ・FAT PC(Windows)：85台
- ・FAT PC(Mac)：90台
- ・PC運用システム V-Boot、銀河計画MZD
- ・Mac管理ツール
- ・各種管理ツール

■導入経緯と効果

「V-Boot」は仮想デスクトップ型とネットワークブート型の特長を併せ持ったシンクライアントシステム。サーバから配信したシステムイメージは各端末にキャッシュされるため、オフラインになっても動作に支障はない。また、イメージのアップデートを差分データのみでの配信で行えるため、帯域の細い無線LAN環境下でもスムーズに更新作業が行える。無線LAN環境がキャンパス内のほぼ全域カバーしている立教大学の中で快適に使える「貸出ノートPC」は非常に好評だという。このV-Bootの安定性が信頼され、「教卓用と演習室用PC」

約400台導入も決定。何らかの理由で端末起動に時間がかかり過ぎた場合、管理者にメール通知も可能で潜在的トラブルを防げるようになった。

さらに、秋にはシンクライアントでありながら起動が早く、冗長化により可用性が高い、ネットワークブート型シンクライアントシステム「銀河計画MZD」も421台導入された。



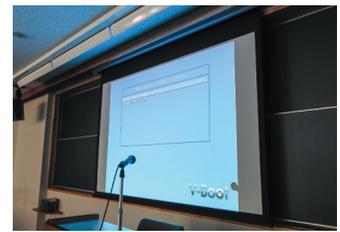
立教大学キャンパス



ノートPCの貸し出し



教卓用PC



スクリーン周辺環境

■大学からの評価

- ・導入や運用にかかるコストを抑えながら新システムを構築できたという成果は、これからも増え続けるであろうPC需要に応えるためのノウハウにも繋がると考えています。」(メディアセンター談)
- ・「現在は学内で月に1回「品質向上会議」という会議を設け、より良い環境を追及しています。」(メディアセンター談)

問い合わせ先

株式会社大塚商会 LA事業部
公共ソリューション支援課
TEL:03-3514-7521
E-mail: kanbun-h@otsuka-shokai.co.jp
<http://www.otsuka-shokai.co.jp>